



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日
東

上場会社名 アル一株式会社 上場取引所
 コード番号 7043 URL http://www.alue.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)落合 文四郎
 (役職名)取締役執行役員 (氏名)稲村 大悟 (TEL)03(6268)9791
 問合せ先責任者 コーポレート部長
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	435	20.6	△30	—	△26	—	△20	—
2020年12月期第1四半期	361	△22.9	△167	—	△172	—	△124	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 △14百万円(—%) 2020年12月期第1四半期 △127百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年12月期第1四半期	円 銭 △8.04	円 銭 —
2020年12月期第1四半期	円 銭 △49.63	円 銭 —

- (注) 1. 当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期当期純利益はそれぞれ損失であるため、対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,861	829	44.6
2020年12月期	1,945	844	43.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 829百万円 2020年12月期 844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	2,270	24.8	230	—	220	—	150	—	—	59.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期 1 Q	2,554,400株	2020年12月期	2,554,400株
2021年12月期 1 Q	30,844株	2020年12月期	30,800株
2021年12月期 1 Q	2,523,600株	2020年12月期 1 Q	2,533,220株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な拡大が依然として続く中、日本国内では、徐々に再開された経済活動により景気回復の兆しが見え始めたものの、冬季を迎え感染者数が増加したことを受け再び発出された緊急事態宣言の影響等により、先行きの不透明な状況が継続しております。

当社グループの属する人材育成業界においては、感染拡大防止の観点から、多くの企業において在宅・テレワークが推進され、研修の形は、一か所に集合して行う集合研修からオンラインでの研修実施やeラーニングの利用へ大きくシフトしております。

当社グループでは、当第1四半期連結累計期間においての国内法人向けの研修におけるオンライン研修の割合が9割を超える環境の中、当社グループは、オンライン研修導入企業増加の流れを最大限に活かすため、研修テーマの拡充及びeラーニングコンテンツの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、435,250千円(前年同期比20.5%増)と前年同期に比べ74,127千円の増加となりました。これは、前年同期において新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、研修のキャンセルがあったことに加え、当第1四半期連結累計期間は、オンラインでの研修実施の他、eラーニングの利用が増加したことによるものです。

利益面におきましては、オンライン研修やeラーニングの実施割合が大きく伸長したことにより、納品に係る外注費や印刷費、渡航費用などが削減されたことや、当社従業員のテレワーク実施が定着したことにより、売上原価率が低下し、売上総利益が大きく伸長いたしました。

また、販売費及び一般管理費におきましても営業活動にかかる費用（旅費交通費や消耗品費等）がテレワーク推進の影響を受け低下いたしました。

一方で、当社グループの業績は、通常の営業形態として、第2四半期連結会計期間に計上する売上高の割合が大きく、第1四半期連結会計期間においては、第2四半期連結累計期間以降の収益拡大のため受注の拡大に努める一方、販売費及び一般管理費において、人件費や地代家賃等固定費は季節的変動の影響を受けず支出するため、毎期第1四半期連結会計期間は営業損失を計上しております。

上記の要因により、営業損失は30,179千円と前年同期に比べ137,628千円改善し、経常損失は26,870千円と前年同期に比べ145,649千円改善することとなりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純損失20,283千円と前年同期に比べ104,675千円損失額が改善することとなりました。

なお、新型コロナウイルスに関連する感染症の事業への影響につきましては今後も注視してまいります。

当社グループは単一の報告セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態については、当連結会計年度末では以下の通りとなりました。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)	増減
流動資産	1,694,793	1,592,118	△102,675
固定資産	250,790	269,344	18,553
資産合計	1,945,584	1,861,462	△84,121
流動負債	432,119	433,279	1,159
固定負債	669,119	598,822	△70,297
負債合計	1,101,239	1,032,101	△69,137
純資産合計	844,345	829,361	△14,984
負債純資産合計	1,945,584	1,861,462	△84,121

主な変動理由は以下の通りです。

流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は、1,592,118千円となり、前連結会計年度末に比べて102,675千円の減少となりました。これは主に、売掛金が169,452千円減少したことによるものです。

固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は、269,344千円となり、前連結会計年度末に比べて18,553千円の増加となりました。これは主に、オンライン研修登壇用のブース造作工事等に伴い建物附属設備が9,429千円増加したことによるもののほか、当第1四半期連結会計期間において親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことに伴い、税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産が7,322千円増加したことによるものです。

流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債残高は、433,279千円となり、前連結会計年度末に比べて1,159千円の増加となりました。これは主に、海外子会社の営業活動により前受金が7,588千円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が返済により75,817千円減少したことに対し、長期借入金からの振替により70,297千円増加したことによるものです。

固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債残高は、598,822千円となり、前連結会計年度末に比べて70,297千円の減少となりました。これは主に、一年内返済予定の長期借入金への振替により、長期借入金が70,297千円減少したことによるものです。

純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は、829,361千円となり、前連結会計年度末に比べ14,984千円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が20,283千円減少した一方で、為替換算調整勘定が5,374千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症が収束する時期の見積は不確実性を伴い困難であるものの、当社グループを取り巻く市場環境は、緩やかではありますが回復に向かっているものと予想されます。

このような状況下において、当社グループは顧客環境や新しい働き方に合わせ、オンライン研修の実施やデジタル教材の開発及び投資を継続し、研修テーマの拡充やeラーニングコンテンツの拡大を積極的に図ってまいります。

そのため、2021年中は新型コロナウイルス感染症による日本経済への影響は継続するものの、当社グループが属する人材育成市場の研修のオンライン化の流れはより加速するものと考えており、当社サービスへの影響は緩やかに2021年度末にむけ改善するものと予測しております。

以上のことから業績への影響は2021年2月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,293,798	1,357,758
売掛金	327,145	157,692
仕掛品	334	4,674
その他	73,515	71,992
流動資産合計	1,694,793	1,592,118
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	16,890	26,319
その他(純額)	5,011	6,334
有形固定資産合計	21,902	32,654
無形固定資産		
ソフトウェア	14,743	15,876
のれん	22,893	21,332
その他	32,167	32,744
無形固定資産合計	69,804	69,954
投資その他の資産		
差入保証金	57,251	57,580
繰延税金資産	93,782	101,104
その他	8,050	8,050
投資その他の資産合計	159,083	166,735
固定資産合計	250,790	269,344
資産合計	1,945,584	1,861,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,196	20,787
1年内返済予定の長期借入金	287,408	281,888
未払金	48,437	53,167
未払費用	17,146	17,583
未払法人税等	464	489
前受金	16,518	24,107
その他	37,947	35,255
流動負債合計	432,119	433,279
固定負債		
長期借入金	667,087	596,790
その他	2,032	2,032
固定負債合計	669,119	598,822
負債合計	1,101,239	1,032,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	365,280	365,280
資本剰余金	345,280	345,280
利益剰余金	147,012	126,729
自己株式	△31,595	△31,670
株主資本合計	825,978	805,620
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	18,366	23,740
その他の包括利益累計額合計	18,366	23,740
純資産合計	844,345	829,361
負債純資産合計	1,945,584	1,861,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	361,122	435,250
売上原価	208,561	176,264
売上総利益	152,561	258,986
販売費及び一般管理費	320,370	289,165
営業損失(△)	△167,808	△30,179
営業外収益		
受取利息	203	14
為替差益	-	3,588
助成金収入	-	1,043
その他	181	154
営業外収益合計	384	4,801
営業外費用		
支払利息	203	1,492
為替差損	4,892	-
営業外費用合計	5,096	1,492
経常損失(△)	△172,520	△26,870
税金等調整前四半期純損失(△)	△172,520	△26,870
法人税、住民税及び事業税	1,007	731
法人税等調整額	△48,568	△7,318
法人税等合計	△47,560	△6,587
四半期純損失(△)	△124,959	△20,283
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△124,959	△20,283

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純損失(△)	△124,959	△20,283
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,507	5,374
その他の包括利益合計	△2,507	5,374
四半期包括利益	△127,467	△14,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△127,467	△14,908
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。